

**金剛中央公園・多機能複合施設等整備運営事業受注候補者選定支援業務
受注候補者選定に関する審査基準**

1. 目的

この基準は、公募型プロポーザル方式による金剛中央公園・多機能複合施設等整備運営事業受注候補者選定支援業務（以下「本業務」という。）の受注候補者を審査するための審査方法及び評価基準について定めることを目的とする。

2. 審査

審査は、富田林市金剛中央公園・多機能複合施設等整備運営事業受注候補者選定支援業務受注候補者選定委員会（以下「委員会」という。）が行う。

3. 審査方法

（１）第１次審査（書類審査）

委員会は、業務実績、企画提案書等の内容を採点し、上位の者から順に第２次審査に進むことのできる３者を選定する。ただし、提案者が３者以下の場合は、第１次審査を省略し第２次審査のみを実施する。

（２）第２次審査（プレゼンテーション等）

委員会は、各提案事業者から提出のあった企画提案書等に基づくプレゼンテーションの内容に応じて、委員会各委員の自己審査の集計をもとに、全体で協議を行ったうえで、受注候補者１者、次点受注候補者１者を選定する。

なお、応募者が１者の場合についても、上記と同様の審査を行い、委員会において契約の目的を達成できると判断した場合、受注候補者として選定する。

4. 審査基準

審査の基準は下表のとおりとする。

審査項目	評価の視点	配点
要求水準書について	事業性（民間の参入意欲）を担保しながら、整備・運営に係るライフサイクルコストの低減と民間の創意工夫を最大限に引き出すことができるよう、策定済の要求水準書（案）をブラッシュアップするための具体的な提案が行われているか。	20
モニタリング基本計画の作成について	効率的・効果的なモニタリングが実施できるよう、策定済のモニタリング基本計画（案）をブラッシュアップするための具体的な提案が行われているか。	5

受注候補者選定基準の作成について	整備・運営事業者の公募型プロポーザル方式での募集に向け、民間の創意工夫の最大化や市民サービスの向上など、事業の投資効果を最大化するための審査基準（評価項目等）が提案されているとともに、市内業者の参画機会、地域雇用の拡大など、地産地消を促すための考え方が具体的に提案されているか。	10
契約書等の作成支援について	策定済の契約書等（たたき案）を基に、円滑な事業実施となるよう、想定される官民のリスク分担などをブラッシュアップするための具体的な提案が行われているか。	5
会社の業務実績	過去 10 年間の受注実績 得点＝会社の実績件数（5 点を上限）	5
主担当者の業務実績	過去 10 年間の受注実績 得点＝主担当者の実績件数（5 点を上限）	5
見積金額	見積額を基に、下記算式により算出する。 得点（少数点以下四捨五入）＝最低見積額÷見積額×50	50

※ 「業務実績」「見積金額」を除く審査項目の 40 点のうち、24 点未満は「業務実績」「見積金額」に関わらず不採用とする。